



令和 7 年 4 月 11 日

**令和 7 年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰の受賞について
受賞者追加等のお知らせ****情報提供**

4月8日付けでプレスリリースいたしました下記につきまして、受賞者の追加がありましたのでお知らせいたします。

また、科学技術賞 研究部門の受賞者の記載を修正しましたので併せてお知らせいたします。

《追加の受賞者》**◆科学技術賞 開発部門**

【受賞者】中谷 ^{なかや} 都志美 ^{としみ} (広島大学デジタルものづくり教育研究センター 特任助教)

【業績名】モデルベースリサーチ技術を活用した革新断熱吸音部材の開発

※桂 大詞 (マツダ (株) 技術研究所 研究長) 外 3 人とのグループ受賞

【業績概要】

近年、さまざまな業界でカーボンニュートラル (CN) 実現と安全快適性向上との高次元な両立に取組まれて、断熱省エネと騒音問題を解決できる高性能な断熱吸音部材を実現することは、全産業界の技術発展に貢献できる。高性能部材の実現には、計算技術の活用による機能予測型の技術開発プロセスが不可欠であるが、断熱吸音部材では計算技術の予測精度・計算コスト共に不十分で、未だ実験主体の試行錯誤型開発となっている。

本開発では、断熱吸音部材の技術開発プロセスを変革するため、材料モデルベースリサーチ (MBR) 基盤技術として、実部材の微細構造分析・解析技術と、部材の複数機能を同時に性能予測できる計算技術を創出し実用化した。

本技術により、高い断熱&吸音性を最小限の原料使用量で得る世界トップレベルの自動車向け断熱吸音部材 (従来比で各性能 1.2 倍、重量 35% 低減、コスト 75% 低減) を実現し、2020 年以降、快適性向上・軽量化・CO2 排出量削減へ貢献している。

本成果は、特殊な計算環境やスキルが不要、且つ汎用性の高い技術であり、鉄道車両、航空機、建築、家電、工作機器、医療機器などのさまざまな業界で、快適性向上、CN 実現に寄与している。

《記載修正》**◆科学技術賞 研究部門 ※グループ受賞者の福田 修氏の情報を追加**

【受賞者】辻 敏夫 (広島大学大学院先進理工系科学研究科 特任教授)

【業績名】筋力学特性と機械学習機能を有する生体模倣型筋電義手の研究

※福田 修 (佐賀大学教育研究院自然科学域理工学系 教授) とのグループ受賞

※4月8日にリリースしました内容は、以下からご覧ください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/2025

【お問い合わせ先】

財務・総務室人事部福利厚生グループ

Tel : 082-424-6024

E-mail : fukumu-fukumu@office.hiroshima-u.ac.jp

(業績内容についてのお問合せはこちら)

デジタルものづくり教育研究センター 特任助教 中谷都志美

Tel : 082-427-6904

E-mail : toshimin@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A4版 2枚 (本票含む)